



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年4月27日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6111 URL <https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神谷 真二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 青木 潤 TEL 0561-52-5356  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の業績 (2022年4月1日~2023年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	13,100	1.4	348	△17.7	428	△9.8	295	△41.4
2022年3月期	12,919	9.9	423	—	474	—	504	23.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	118.78	—	2.2	2.1	2.7
2022年3月期	207.64	—	3.8	2.3	3.3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	20,460	13,617	66.6	5,471.65
2022年3月期	20,140	13,560	67.3	5,448.11

(参考) 自己資本 2023年3月期 13,617百万円 2022年3月期 13,560百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△691	△718	△177	4,074
2022年3月期	187	△251	△1,253	5,659

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	—	—	70.00	70.00	174	33.7	1.3
2023年3月期	—	—	—	70.00	70.00	174	58.9	1.3
2024年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00		96.8	

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	5.1	40	△79.8	80	△66.2	50	△68.1	20.09
通期	13,900	6.1	210	△39.7	290	△32.3	180	△39.1	72.33

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 12「3. 財務諸表及び主な注記(5) 財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	3,088,739株	2022年3月期	3,088,739株
2023年3月期	599,989株	2022年3月期	599,703株
2023年3月期	2,488,913株	2022年3月期	2,427,718株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動との両立が図られる一方で、ウクライナ情勢によりエネルギー価格・原材料価格が高騰するとともに、世界的なインフレの進行や長引く部材不足、円相場の急激な変動等の影響から、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、プレス機械の売上が引き続き増加したものの、精密金属加工品において、自動車関連部品の他、水晶振動子関連部品、安全関連部品等の売上が減少したこと等から、売上高は131億円と前期比1.4%の増加にとどまりました。利益面につきましては、生産体制の改善に取り組んでまいりましたが、エネルギー価格・原材料価格の高騰、販売力強化に向けた販売促進費の増加等により、営業利益は3億4千8百万円と前期比17.7%の減少、経常利益は4億2千8百万円と前期比9.8%の減少となりました。当期純利益につきましては、前期に特別利益として計上しました投資有価証券売却益がなく、2億9千5百万円と前期比41.4%の減少となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 〔精密加工事業部〕

精密加工事業部における当事業年度の売上高は、66億2千5百万円と前期比7.3%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

##### ①精密金属加工品

当事業年度の売上高は、自動車関連、水晶振動子関連、安全関連の各部品等の需要が取引先の在庫調整等により減少したため、36億5千3百万円と前期比11.2%の減少となりました。

##### ②小口径銃弾

当事業年度の売上高は、政府の予算執行を受け、29億7千1百万円と前期比2.0%の減少となりました。

#### 〔機械事業部〕

機械事業部における当事業年度の売上高は、64億7千4百万円と前期比12.1%の増加となり、その主な内容は以下のとおりです。

##### ①プレス機械

当事業年度の売上高は、電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池缶製造用プレス機械の売上増により、54億7千9百万円と前期比17.3%の増加となりました。

##### ②ばね機械

当事業年度の売上高は、大型機を中心に需要が徐々に回復してきており、5億3千6百万円と前期比8.5%の増加となりました。

##### ③自動機・専用機

当事業年度の売上高は、リードタイムの長い機種が多いなか出荷が増加し、4億2千7百万円と前期比11.8%の増加となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は130億1千4百万円となり、前事業年度末に比べ2億4千9百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が15億8千5百万円減少したものの、棚卸資産が13億9千万円、売掛金が3億7千3百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は74億4千6百万円となり、前事業年度末に比べ6千9百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が1億8百万円減少したものの、有形固定資産が1億3千万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は204億6千万円となり、前事業年度末に比べ3億1千9百万円増加いたしました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は59億円となり、前事業年度末に比べ2億7千6百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が1億4千3百万円減少したものの、電子記録債務が3億1千7百万円、前受金が2億8千4百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は9億4千1百万円となり、前事業年度末に比べ1千4百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は68億4千2百万円となり、前事業年度末に比べ2億6千2百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は136億1千7百万円となり、前事業年度末に比べ5千7百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が6千3百万円減少したものの、繰越利益剰余金が1億2千1百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は40億7千4百万円となり、前事業年度末に比べ15億8千5百万円減少いたしました。

各キャッシュフローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は6億9千1百万円となりました。これは主に、減価償却費で6億9千7百万円及び税引前当期純利益で4億2千8百万円計上したものの、棚卸資産の増加により13億9千万円及び売上債権の増加により3億5千1百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は7億1千8百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得で6億9千3百万円支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億7千7百万円となりました。これは主に、配当金で1億7千3百万円支出したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	67.9	67.8	62.6	67.3	66.6
時価ベースの自己資本比率(%)	31.0	27.4	23.4	25.3	29.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.2	1.2	1.4	9.1	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	46.9	192.0	113.3	18.3	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) 2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、原材料価格の上昇やウクライナ情勢の動向、金融資本市場の変動など懸念材料が少なくなく、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われま。

このような情勢のもと、当社は、積極的に新市場や新規顧客の開拓等に取り組むとともに、顧客が求める付加価値の高い新製品の開発、画期的な新技術を追求し、生産性の一層の向上を図りながら、業績の向上に向け鋭意努力してまいります。

翌事業年度の業績見通しにつきましては、売上高139億円、営業利益2億1千万円、経常利益2億9千万円、当期純利益1億8千万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,659,776	4,074,018
受取手形	28,755	25,929
電子記録債権	572,324	553,320
売掛金	2,462,499	2,836,028
製品	356,785	625,941
仕掛品	2,936,177	3,758,416
原材料及び貯蔵品	656,500	955,626
前払費用	26,382	28,209
その他	68,895	160,797
貸倒引当金	△3,800	△4,000
流動資産合計	12,764,296	13,014,288
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,757,324	6,774,980
減価償却累計額	△4,859,642	△4,886,834
建物(純額)	1,897,681	1,888,145
構築物	1,303,872	1,322,267
減価償却累計額	△997,082	△1,017,893
構築物(純額)	306,789	304,373
機械及び装置	12,860,843	13,048,176
減価償却累計額	△11,393,592	△11,760,475
機械及び装置(純額)	1,467,251	1,287,701
車両運搬具	185,011	193,891
減価償却累計額	△171,729	△175,808
車両運搬具(純額)	13,281	18,083
工具、器具及び備品	1,679,052	1,711,951
減価償却累計額	△1,522,977	△1,571,202
工具、器具及び備品(純額)	156,074	140,749
土地	665,733	665,733
リース資産	19,948	35,418
減価償却累計額	△18,950	△590
リース資産(純額)	997	34,827
建設仮勘定	84,197	382,408
有形固定資産合計	4,592,007	4,722,022

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	64,913	60,304
リース資産	846	-
その他	2,021	1,991
無形固定資産合計	67,781	62,295
投資その他の資産		
投資有価証券	2,451,802	2,343,753
関係会社株式	10,000	10,000
長期前払費用	36,863	18,141
前払年金費用	90,106	163,481
その他	127,782	126,456
投資その他の資産合計	2,716,554	2,661,832
固定資産合計	7,376,343	7,446,151
資産合計	20,140,639	20,460,440
負債の部		
流動負債		
支払手形	161,818	137,072
電子記録債務	1,908,583	2,226,506
買掛金	756,101	777,282
短期借入金	1,700,000	1,700,000
リース債務	1,991	7,791
未払金	334,007	246,849
未払費用	87,941	73,865
未払法人税等	216,292	73,067
前受金	105,944	390,384
預り金	20,484	19,602
賞与引当金	300,960	226,781
役員業績報酬引当金	30,000	21,793
流動負債合計	5,624,126	5,900,998
固定負債		
リース債務	-	30,518
繰延税金負債	17,935	50,772
退職給付引当金	856,851	851,115
その他	81,188	9,454
固定負債合計	955,975	941,861
負債合計	6,580,101	6,842,859

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金		
資本準備金	3,468,202	3,468,202
資本剰余金合計	3,468,202	3,468,202
利益剰余金		
利益準備金	449,500	449,500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,392,500	2,392,500
繰越利益剰余金	3,184,836	3,306,236
利益剰余金合計	6,026,836	6,148,236
自己株式	△1,264,656	△1,265,318
株主資本合計	12,405,799	12,526,537
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,154,738	1,091,043
評価・換算差額等合計	1,154,738	1,091,043
純資産合計	13,560,537	13,617,580
負債純資産合計	20,140,639	20,460,440

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	12,919,769	13,100,037
売上原価		
製品期首棚卸高	178,670	356,785
当期製品製造原価	10,855,418	11,092,274
合計	11,034,089	11,449,060
製品期末棚卸高	356,785	625,941
製品売上原価	10,677,304	10,823,118
売上総利益	2,242,465	2,276,919
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	181,828	198,874
役員報酬	161,301	139,843
給料手当及び賞与	530,123	582,944
賞与引当金繰入額	64,074	51,191
役員業績報酬引当金繰入額	30,000	21,793
退職給付費用	26,051	23,464
減価償却費	29,461	28,698
その他	796,502	881,844
販売費及び一般管理費合計	1,819,342	1,928,656
営業利益	423,122	348,263
営業外収益		
受取利息	503	508
受取配当金	47,763	63,030
固定資産賃貸料	34,743	32,208
その他	14,671	18,211
営業外収益合計	97,681	113,959
営業外費用		
支払利息	10,201	9,608
固定資産賃貸費用	19,719	19,166
コミットメントフィー	9,991	3,287
その他	5,984	1,977
営業外費用合計	45,897	34,040
経常利益	474,906	428,182
特別利益		
投資有価証券売却益	254,055	-
特別利益合計	254,055	-
税引前当期純利益	728,962	428,182
法人税、住民税及び事業税	219,017	53,639
法人税等調整額	5,857	78,911
法人税等合計	224,875	132,550
当期純利益	504,086	295,631

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	4,175,416	3,468,202	-	3,468,202	449,500	2,392,500	2,860,358	5,702,358
当期変動額								
剰余金の配当							△168,663	△168,663
当期純利益							504,086	504,086
自己株式の取得								
自己株式の処分			△10,944	△10,944				
自己株式処分差損の振替			10,944	10,944			△10,944	△10,944
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	324,478	324,478
当期末残高	4,175,416	3,468,202	-	3,468,202	449,500	2,392,500	3,184,836	6,026,836

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,432,460	11,913,517	985,659	△158	985,500	12,899,018
当期変動額						
剰余金の配当		△168,663				△168,663
当期純利益		504,086				504,086
自己株式の取得	△900	△900				△900
自己株式の処分	168,704	157,760				157,760
自己株式処分差損の振替		-				-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			169,078	158	169,237	169,237
当期変動額合計	167,803	492,281	169,078	158	169,237	661,519
当期末残高	△1,264,656	12,405,799	1,154,738	-	1,154,738	13,560,537

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	4,175,416	3,468,202	3,468,202	449,500	2,392,500	3,184,836	6,026,836
当期変動額							
剰余金の配当						△174,232	△174,232
当期純利益						295,631	295,631
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	121,399	121,399
当期末残高	4,175,416	3,468,202	3,468,202	449,500	2,392,500	3,306,236	6,148,236

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,264,656	12,405,799	1,154,738	1,154,738	13,560,537
当期変動額					
剰余金の配当		△174,232			△174,232
当期純利益		295,631			295,631
自己株式の取得	△661	△661			△661
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△63,694	△63,694	△63,694
当期変動額合計	△661	120,737	△63,694	△63,694	57,042
当期末残高	△1,265,318	12,526,537	1,091,043	1,091,043	13,617,580

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	728,962	428,182
減価償却費	783,387	697,802
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	200
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,251	△74,179
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	2,828	△8,207
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,066	△5,735
受取利息及び受取配当金	△48,267	△63,539
支払利息	10,201	9,608
投資有価証券売却損益(△は益)	△254,055	△5,798
売上債権の増減額(△は増加)	△207,302	△351,939
棚卸資産の増減額(△は増加)	△732,646	△1,390,521
仕入債務の増減額(△は減少)	247,475	225,779
その他	△157,231	△15,318
小計	395,536	△553,666
利息及び配当金の受取額	48,507	63,779
利息の支払額	△10,242	△9,584
法人税等の支払額	△246,677	△191,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,123	△691,335
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△350,623	△693,151
有形固定資産の売却による収入	9,706	658
無形固定資産の取得による支出	△18,240	△19,825
投資有価証券の取得による支出	△163,287	△4,743
投資有価証券の売却による収入	275,983	8,234
その他	△4,745	△10,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251,207	△718,888
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,230,000	-
自己株式の処分による収入	157,760	-
自己株式の取得による支出	△900	△661
配当金の支払額	△168,310	△173,762
その他	△12,204	△2,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,253,656	△177,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	927	1,529
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,316,812	△1,585,758
現金及び現金同等物の期首残高	6,976,589	5,659,776
現金及び現金同等物の期末残高	5,659,776	4,074,018

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる財務諸表への影響はありません。

## (持分法損益等)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業部制を採用しており、各事業部において取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「精密加工事業部」及び「機械事業部」の2つを報告セグメントとしております。

「精密加工事業部」は、精密金属加工品及び小口径銃弾の製造及び販売を行っております。「機械事業部」は、プレス機械、ばね機械、自動機・専用機等の製造及び販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は製造原価に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	精密加工 事業部	機械 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,145,329	5,774,440	12,919,769	-	12,919,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	5,388	5,388	△5,388	-
計	7,145,329	5,779,829	12,925,158	△5,388	12,919,769
セグメント利益	578,513	689,556	1,268,069	△844,946	423,122
セグメント資産	5,661,284	5,155,351	10,816,636	9,324,003	20,140,639
その他の項目					
減価償却費	451,952	295,625	747,578	19,313	766,892
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	229,601	116,454	346,055	28,824	374,880

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	精密加工 事業部	機械 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,625,674	6,474,363	13,100,037	-	13,100,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	3,761	3,761	△3,761	-
計	6,625,674	6,478,124	13,103,799	△3,761	13,100,037
セグメント利益	337,345	865,425	1,202,771	△854,507	348,263
セグメント資産	5,936,604	6,750,042	12,686,646	7,773,793	20,460,440
その他の項目					
減価償却費	392,982	269,402	662,385	19,546	681,931
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	309,675	466,548	776,223	49,682	825,906

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	前事業年度	当事業年度
全社費用※	△844,946	△854,507

※ 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

(単位:千円)

	前事業年度	当事業年度
全社資産※	9,324,003	7,773,793

※ 報告セグメントに帰属しない全社資産であり、主に現金及び預金、投資  
有価証券等が含まれております。

その他の項目

減価償却費

(単位:千円)

	前事業年度	当事業年度
全社費用※	19,313	19,546

※ 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の項目

有形固定資産及び無形固定資産の増加額

(単位:千円)

	前事業年度	当事業年度
全社設備投資額※	28,824	49,682

※ 報告セグメントに帰属しない一般管理部門の設備投資額であります。

2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	5,448.11円	5,471.65円
1株当たり当期純利益金額	207.64円	118.78円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	13,560,537	13,617,580
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	13,560,537	13,617,580
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	2,489	2,488

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益金額(千円)	504,086	295,631
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	504,086	295,631
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,427	2,488

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。